

2019 年度

第 66 回通常総会資料

2019 年 5 月 16 日

於：福岡国際会議場 メインホール

公益社団法人日本実験動物学会

第 66 回日本実験動物学会通常総会式次第

一、開会

一、議長選出

一、議事録署名人選出

一、理事長挨拶

一、議事

第 1 号議案 2018 年度事業報告

第 2 号議案 2018 年度収支決算報告ならびに監査報告

第 3 号議案 定款の変更

一、報告

2019 年度事業計画

2019 年度収支予算

一、第 67 回大会長挨拶

一、第 66 回大会長挨拶

一、閉会

2018年度事業報告

(2018年4月1日－2019年3月31日)

I. 会員数 (2019年3月31日)

(1) 名誉会員

2018年3月31日会員数	5名	
名誉会員現在数	5名	(0名減)

(2) 正会員

2018年3月31日会員数	1,069名	
2018年度新入会員数	65名	
2018年度退会者数	60名	
内訳	希望退会者	60名
	物故者	0名
正会員現在数	1,074	(5名増)

(3) 維持会員

2018年3月31日維持会員数	88社	
2018年度入会社数	0社	
2018年度退会社数	0社	
維持会員現在数	88社	(増減0)

II. 機関誌送本および販売数

(1) 送本数	会員区分	送本数	
国内	名誉会員	16冊	
	正会員	1,778冊	
	維持会員	872冊	
国外	正会員	16冊	
	小計	2,682冊	
(2) 販売数		97冊	
(3) 贈呈数	箇所数	送本数	
国内	10	39冊	
国外	5	20冊	
	小計	59冊	
合計機関誌送本数		2,838冊	(2冊増)
(4) その他			
機関誌を広告代理店に提供、バックナンバーとして販売。残部は在庫。			

III. 第 65 回通常総会

開催年月日： 2018 年 5 月 17 日

開催場所： 富山県民会館

IV. 理事会、評議員会

(1) 理事会 4 回開催

① 第 1 回 開催年月日： 2018 年 4 月 25 日

開催場所： 東京大学農学部セイホクギャラリー

② 第 2 回 開催年月日： 2018 年 5 月 17 日

開催場所： 富山県民会館

③ 第 3 回 開催年月日： 2018 年 11 月 16 日

開催場所： 中央大学駿河台記念館

④ 第 4 回 開催年月日： 2019 年 3 月 15 日

開催場所： 書面審議

(2) 理事・評議員懇談会 1 回開催

開催年月日： 2018 年 5 月 15 日

開催場所： 富山県民会館

V. 定期学術集会の開催

第 65 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催した。

会期： 2018 年 5 月 16 日（水）～18 日（金）

会場： 富山県民会館

会長： 久和 茂（東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻）

参加者： 1,010 名

VI. 定期刊行物の発行

「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に希望配布した。

発行年月日	巻	号	備考
平成 29 年 4 月 1 日	67	2	
平成 29 年 5 月 1 日	67	サブリメント号（電子配信）	
平成 29 年 7 月 1 日	67	3	
平成 29 年 10 月 1 日	67	4	
平成 30 年 1 月 1 日	68	1	

VII. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 2018年度学会賞受賞者を表彰した。

1) 功労賞 (2名、五十音順)

伊藤 豊志雄 会員 (公益財団法人実験動物中央研究所)

笠井 憲雪 会員 (東北大学大学院医学系研究科)

2) 安東・田嶋賞 (1名)

中潟 直己 会員 (熊本大学生命資源研究・支援センター)

「マウス生殖工学技術の開発・改良とそれら技術の国際標準化に向けた取り組み」

3) 奨励賞 (2名)

濱田 理人 会員 (筑波大学医学医療系)

「転写因子 MafB のマクロファージにおける機能解析」

和田 健太 会員 (東京農業大学生物産業学部)

「順遺伝学に基づく眼球疾患モデル動物の原因遺伝子の同定」

4) 2017年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1編)

高橋 剛、長谷川清香、福富友紀子、原田千鴻、古郡真宗、関 優太、吉川欣亮、
和田健太

A novel missense mutation of Mip causes semi-dominant cataracts in the Nat mouse

「*Nat* マウスの半優性白内障を引き起す *Mip* の新規ミスセンス変異」

(2) 2017年日本実験動物学会国際賞の表彰を行った。

2017年受賞者 (4名)

中国 : Nana Zhang

台湾 : Yuan-Chi Teng

インドネシア : Fitriya Nur Annisa Dewi

韓国 : Dae Yong Yoo

2016年受賞者 (1名: 2017年度来日できなかったため)

マレーシア : Nur Fazila Binti Saulol Hamid

(3) 2019年度学会賞受賞者を選考した。

1) 功労賞 (3名、五十音順)

伊藤 喜久治 会員 (日本エスエルシー株式会社)

小幡 裕一 会員 (理化学研究所バイオリソース研究センター)

芹川 忠夫 会員 (京都疾患モデル研究所)

2) 安東・田嶋賞 (1名)

浅野 雅秀 会員 (京都大学大学院医学研究科)

「遺伝子改変技術に基づく多彩な生命現象の理解と疾患モデルの開発～糖鎖、エ

ピジエネティクス、サイトカイン関連遺伝子の解析から～」

3) 奨励賞 (2名、五十音順)

井上 貴史 会員 (実験動物中央研究所)

「コモンマーモセットによるヒト疾患モデル開発のための獣医学的研究」

宮田 治彦 会員 (大阪大学微生物病研究所)

「ゲノム編集技術を用いた精子機能の解析」

4) 2018年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1編)

秋山健太郎、蕨 栄治、岡田浩介、柳川 徹、石井哲郎、巨瀬勝美、徳重克年、石毛和紀、溝上裕士、山縣憲司、鬼澤浩司郎、有泉俊一、山本雅一、正田純一

Deletion of both *p62* and *Nrf2* spontaneously results in the development of nonalcoholic steatohepatitis

「*p62:Nrf2* 二重欠損マウスは非アルコール性脂肪性肝炎を自然発症する」

(4) 2018年日本実験動物学会国際賞の選考を行った。

2018年受賞者 (5名)

マレーシア : Ms. Nur Syafinaz Zainal

フィリピン : Ms. Charmaine R. Peredas

スリランカ : Ms. Hesika Varnakulasingham

タイ : Ms. Ratchaneevan Aeimlapa

シンガポール : Dr. Sai Bo Bo Tun

VIII. 研究・調査活動

編集委員会、学術集会委員会、財務特別委員会、国際交流委員会、広報・情報公開検討委員会、動物福祉・倫理委員会、定款・細則・規定等検討委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会、実験動物管理者研修制度委員会、人材育成委員会、将来検討委員会、動愛法等対策委員会、外部検証委員会を設置し、活動を行った。

IX. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力した。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力した。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) 及びアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続した。
- (4) 海外関連学協会との学術・情報交流を推進した。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターなど実験動物・動物実験に携わる機関の活動に協力した。

X. その他

- (1) 2018年度維持会員懇談会を実施した。(財務特別委員会担当)

- 講演会「医薬品開発の成功確率を上げるために」
話題提供「Zebrafish の品質管理」
2018 年 11 月 16 日、中央大学駿河台記念館、
参加者：76 名（維持会員 64 名、非会員 12 名）
- (2) 第 7 回実験動物科学シンポジウムを開催した。(学術集会委員会担当)
「人獣共通感染症研究 ―ワンヘルスの取り組みと動物実験の役割―」
2018 年 6 月 30 日、北海道大学学術交流会館
参加者：45 名（会員 19 名、非会員 26 名）
- (3) 第 65 回大会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催した。
感染症対策委員会担当：実験動物施設の品質管理 ～微生物統御の観点から
学術集会委員会担当：健康長寿をめざした老化研究の推進
動物福祉・倫理委員会担当：
改訂版実験動物の飼養保管基準解説書に基づく飼養保管基準の解説
教育研修委員会担当セミナー：
集合胚とは？ 集合胚の道德・倫理を考える（参加者：136 名）
動物実験における統計学～実際に統計を考察しよう～（参加者：129 名）
動物実験における獣医学的管理 導入教育におけるガイダンス（参加者：217 名）
- (4) 実験動物管理者等研修会を 2 回開催した。(実験動物管理者研修制度委員会担当)
第 10 回実験動物管理者等研修会
2018 年 9 月 26-27 日 東京大学農学部 3 号館 4 階会議室
参加者合計：73 名（会員 8 名、維持会員団体職員 13 名、非会員 52 名）
第 11 回実験動物管理者等研修会
2019 年 2 月 12-13 日 東京大学農学部 3 号館 4 階会議室
参加者合計：66 名（会員 11 名、維持会員団体職員 12 名、非会員 43 名）
- (5) 外部検証促進のための人材育成講習会を開催した。(人材育成委員会担当)
2018 年 7 月 4-6 日 東京大学弥生講堂セイホクギャラリー
2018 年 9 月 14-16 日、東北大学医学部教育基盤研究棟
国動協、公私動協及び日本実験動物学会から推薦された外部検証専門員候補者 48 名が受講。
- (6) 2018 年度動物実験に関する外部検証事業として 25 機関の外部検証を実施した。(外部検証委員会担当)
実施機関：国立大学 6 機関、公立大学 4 機関、私立大学 12 機関、国立研究開発法人 3 機関
- (7) 動物実験の外部検証：2019 年度の実施準備に向けた事前説明会を開催した。(人材育成委員会担当)
2019 年 1 月 24 日 東京大学山上会館大会議室

参加合計：103 機関、185 名

(8) 第 68 回日本実験動物学会総会の大会長を選出し開催概要を決定した。

会 期：2021 年 5 月（予定）

会 場：東京都江戸川区（予定）

大会長：今井 良悦（武田薬品工業）

貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 日本実験動物学会

(単位：円)

科 目	金 額		
	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	6,114,000	8,414,726	-2,300,726
未収会費	1,004,000	999,000	5,000
未収金	1,274,400	415,800	858,600
前払費用	577,027	202,316	374,711
流動資産合計	8,969,427	10,031,842	-1,062,415
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
基本財産合計	25,000,000	25,000,000	0
(2) 特定資産			
学会賞基金引当預金	13,224,251	13,511,728	-287,477
特別集会資金	17,646,572	14,321,883	3,324,689
アジア基金預金	1,124,594	1,624,583	-499,989
AMED補助事業資産	3,538,925	2,792,656	746,269
外部検証人材育成事業資金	12,583,774	12,582,516	1,258
特定資産合計	48,118,116	44,833,366	3,284,750
(3) その他固定資産			
什器備品	5,006	35,016	-30,010
保証金	817,440	817,440	0
その他固定資産合計	822,446	852,456	-30,010
固定資産合計	73,940,562	70,685,822	3,254,740
資産合計	82,909,989	80,717,664	2,192,325
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,304,128	1,377,879	-73,751
前受会費	396,000	191,000	205,000
前受金	6,049,099	3,266,573	2,782,526
預り金	27,350	58,319	-30,969
仮受金	10,000	0	10,000
流動負債合計	7,786,577	4,893,771	2,892,806
負債合計	7,786,577	4,893,771	2,892,806
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	2,801,597	2,302,553	499,044
指定正味財産合計	2,801,597	2,302,553	499,044
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,801,597)	(2,302,553)	(499,044)
2. 一般正味財産	72,321,815	73,521,340	-1,199,525
(うち基本財産への充当額)	(25,000,000)	(25,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(44,579,191)	(42,040,710)	(2,538,481)
正味財産合計	75,123,412	75,823,893	-700,481
負債及び正味財産合計	82,909,989	80,717,664	2,192,325

貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 日本実験動物学会

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現金・預金	3,409,909	0	2,704,091	0	6,114,000
未収会費	1,004,000	0	0	0	1,004,000
未収金	1,274,400	0	0	0	1,274,400
前払費用	455,638	0	121,389	0	577,027
流動資産合計	6,143,947	0	2,825,480	0	8,969,427
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	25,000,000	0	0	0	25,000,000
基本財産合計	25,000,000	0	0	0	25,000,000
(2) 特定資産					
学会賞基金引当預金	13,224,251	0	0	0	13,224,251
特別集会資金	17,646,572	0	0	0	17,646,572
アジア基金預金	1,124,594	0	0	0	1,124,594
AMED補助事業資産	3,538,925	0	0	0	3,538,925
外部検証人材育成事業資金	12,583,774	0	0	0	12,583,774
特定資産合計	48,118,116	0	0	0	48,118,116
(3) その他固定資産					
什器備品	0	0	5,006	0	5,006
保証金	326,976	0	490,464	0	817,440
その他固定資産合計	326,976	0	495,470	0	822,446
固定資産合計	73,445,092	0	495,470	0	73,940,562
資産合計	79,589,039	0	3,320,950	0	82,909,989
II. 負債の部					
1. 流動負債					
未払費用	845,682	0	458,446	0	1,304,128
前受会費	396,000	0	0	0	396,000
前受金	6,049,099	0	0	0	6,049,099
預り金	0	0	27,350	0	27,350
仮受金	10,000	0	0	0	10,000
流動負債合計	7,300,781	0	485,796	0	7,786,577
負債合計	7,300,781	0	485,796	0	7,786,577
III. 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
国庫補助金	2,801,597	0	0	0	2,801,597
指定正味財産合計	2,801,597	0	0	0	2,801,597
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,801,597)	(0)	(0)	(0)	(2,801,597)
2. 一般正味財産	69,486,661	0	2,835,154	0	72,321,815
(うち基本財産への充当額)	(25,000,000)	(0)	(0)	(0)	(25,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(44,579,191)	(0)	(0)	(0)	(44,579,191)
正味財産合計	72,288,258	0	2,835,154	0	75,123,412
負債及び正味財産合計	79,589,039	0	3,320,950	0	82,909,989

正味財産増減計算書
(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
公益社団法人 日本実験動物学会

科 目	当年度	前年度	(単位：円) 増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,500	1,500	0
基本財産受取利息	1,500	1,500	0
② 特定資産運用益	2,500	2,503	-3
特定資産受取利息	2,500	2,503	-3
③ 受取入会金	132,000	142,000	-10,000
受取入会金	132,000	142,000	-10,000
④ 受取会費	16,168,000	16,555,000	-387,000
正会員受取会費	10,278,000	10,365,000	-87,000
維持会員受取会費	5,890,000	6,190,000	-300,000
⑤ 事業収益	55,402,487	51,457,006	3,945,481
機関誌販売事業収益	394,500	141,000	253,500
機関誌広告収益	1,776,600	1,682,100	94,500
機関誌著者負担金収益	4,973,500	4,614,034	359,466
総会開催事業参加費収益	7,083,000	7,356,000	-273,000
総会開催事業関連費収益	34,564,887	32,419,272	2,145,615
管理者研修事業収益	771,000	619,000	152,000
維持会員懇談会費収益	250,000	230,000	20,000
人材育成事業受託費収益	0	0	0
外部検証料金収益	5,589,000	4,395,000	1,193,400
⑥ 受取補助金等	8,932,125	8,274,148	657,977
受取補助金等振替額28.29年度	525,985	76,057	449,928
受取補助金等振替額30年度	8,406,140	8,198,091	208,049
⑦ 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益	162,824	137,048	25,776
受取利息	1,117	1,145	-28
雑収益	161,707	135,903	25,804
経常収益計	80,801,436	76,569,205	4,232,231
(2) 経常費用			
① 機関誌発行事業費	9,846,930	8,690,288	1,156,642
編集費	1,864,811	1,709,779	155,032
印刷費	7,296,120	6,364,493	931,627
発送費	611,043	542,825	68,218
事務費	74,956	73,191	1,765
② 総会開催事業費	40,739,642	39,444,358	1,295,284
総会開催費	40,739,642	39,444,358	1,295,284
③ その他の事業費	19,061,895	17,015,199	2,046,696
実験動物科学シホプログラム開催経費	543,232	460,191	83,041
管理者研修会経費	1,005,272	443,021	562,251
維持会員懇談会費	557,236	543,160	14,076
人材育成事業経費29年度	1,728	0	1,728
人材育成事業経費30年度	8,406,140	7,936,641	469,499
人材育成事業減価償却費	524,257	337,507	186,750
外部検証事業経費	4,951,810	4,622,839	328,971
委員会・ワーキンググループ等経費	1,706,276	705,452	1,000,824
学会賞経費	381,756	717,894	-336,138
国際賞経費	500,000	400,000	100,000
関連国際学会・協力分担金	484,188	493,892	-9,704
国際交流経費	0	354,602	-354,602
④ 管理費	9,969,129	10,224,432	-255,303
給料手当	3,535,400	3,180,250	355,150
法定福利費	157,895	193,610	-35,715
事務費	1,921,001	1,863,596	57,405
旅費・交通費	1,077,384	1,022,938	54,446
通信費	359,907	311,148	48,759
会議費	76,150	109,148	-32,998
事務所賃借料	2,575,687	2,427,792	147,895
租税公課	17,600	79,800	-62,200
公認会計士監査費用	218,095	218,184	-89
役員選挙経費	0	764,394	-764,394
減価償却費	30,010	53,572	-23,562
⑤ その他の支出	2,383,365	2,589,904	-206,539
業務委託費	2,383,365	2,589,904	-206,539
経常費用計	82,000,961	77,964,181	4,036,780
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,199,525	-1,394,976	195,451
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,199,525	-1,394,976	195,451
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取補助金等振替額	548,831	2,656,965	-2,108,134
過年度損益修正益	47,140	1,480	45,660
経常外収益計	595,971	2,658,445	-2,062,474
(2) 経常外費用			
受取補助金等返還額	595,971	2,658,445	-2,062,474
経常外費用計	595,971	2,658,445	-2,062,474
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,199,525	-1,394,976	195,451
一般正味財産期首残高	73,521,340	74,916,316	-1,394,976
一般正味財産期末残高	72,321,815	73,521,340	-1,199,525
II. 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	9,980,000	10,280,000	-300,000
受取国庫補助金	9,980,000	10,280,000	-300,000
一般正味財産への振替額	9,480,956	10,931,113	-1,450,157
当期指定正味財産増減額	499,044	651,113	1,150,157
指定正味財産期首残高	2,302,553	2,953,666	-651,113
指定正味財産期末残高	2,801,597	2,302,553	499,044
III. 正味財産期末残高	75,123,412	75,823,893	-700,481

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却については、定額法にて行っている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定期預金	25,000,000	0	0	25,000,000
小 計	25,000,000	0	0	25,000,000
特 定 資 産				
学会賞基金引当預金	13,511,728	1,033	288,510	13,224,251
特別集会資金	14,321,883	9,469,537	6,144,848	17,646,572
アジア基金預金	1,624,583	11	500,000	1,124,594
AMED補助事業資産	2,792,656	9,980,000	9,233,731	3,538,925
外部検証人材育成事業資金	12,582,516	1,258	0	12,583,774
小 計	44,833,366	19,451,839	16,167,089	48,118,116
合 計	69,833,366	19,451,839	16,167,089	73,118,116

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基 本 財 産				
定期預金	25,000,000	(0)	(25,000,000)	0
小 計	25,000,000	(0)	(25,000,000)	0
特 定 資 産				
学会賞基金引当預金	13,224,251	(0)	(13,224,251)	0
特別集会資金	17,646,572	(0)	(17,646,572)	0
アジア基金預金	1,124,594	(0)	(1,124,594)	0
AMED補助事業資産	3,538,925	(2,801,597)	(0)	737,328
外部検証人材育成事業資金	12,583,774	(0)	(12,583,774)	0
小 計	48,118,116	(2,801,597)	(44,579,191)	(737,328)
合 計	73,118,116	(2,801,597)	(69,579,191)	(737,328)

4. 担保に供している資産及び保証債務はない。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品 (その他固定資産)	755,737	750,731	5,006
什器備品 (特定資産)	2,117,739	890,002	1,227,737
合 計	2,873,476	1,640,733	1,232,743

財務諸表に対する注記

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国庫補助金	AMED(28年度)	220,644	0	76,057	144,587	指定正味財産
国庫補助金	AMED(29年度)	2,081,909	0	998,759	1,083,150	指定正味財産
国庫補助金	AMED(30年度)	0	9,980,000	8,406,140	1,573,860	指定正味財産
合 計		2,302,553	9,980,000	9,480,956	2,801,597	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	8,407,868
減価償却費計上による振替額	524,257
経常外収益への振替額	
29年度補助金返還による振替額	548,831
合 計	9,480,956

附 属 明 細 書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

以上については、財務諸表の注記に記載しているため、貸借対照表及び損益計算書の附属明細書は作成していない。

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

公益社団法人 日本実験動物学会
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金 預金	手元保管	運転資金として	92,100	
	普通預金	運転資金として		
	みずほ銀行本郷支店		510,231	
	三井住友銀行上野支店		275,638	
	みずほ銀行本郷支店		2,797,681	
	りそな銀行本郷支店		25,202	
	みずほ銀行本郷支店		807,996	
	みずほ銀行本郷支店		1,003,204	
	みずほ銀行本郷支店		47	
	郵便貯金	運転資金として		
	ゆうちょ銀行		604,901	
	預金合計		6,021,900	
	未収会費		1,004,000	
	未収金	農業・食品産業技術総合研究機構他	外部検証手数料	858,600
		日本医学広告社	EA68-I広告料	415,800
未収金合計			1,274,400	
前払費用		577,027		
流動資産合計			8,969,427	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友銀行上野支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	15,000,000
		りそな銀行本郷支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
		基本財産合計		25,000,000
特定資産	学会賞基金引当預金	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,013,512
		みずほ銀行本郷支店		
		普通預金	その他事業の積立資産として管理している	3,210,739
	特別集會資金	定期預金	總會開催事業の積立資産として管理している	1,543,185
		三越UFJ銀行春日町支店		
		普通預金	總會開催事業の積立資産として管理している	7,918,999
		三越UFJ銀行春日町支店		
		普通預金	第67回總會開催事業の資金として管理している	10,000
		三越銀行本郷支店		
	アジア基金預金	普通預金	その他事業の積立資産として管理している	1,124,594
		みずほ銀行本郷支店		
		AMED補助事業資産		
	AMED補助事業資産	現金	AMED補助事業の資金として管理している。	137
		普通預金	AMED補助事業の資金として管理している。	2,311,051
		みずほ銀行本郷支店		
什器備品		AMED補助事業のパソコン他	1,227,737	
定期預金		外部検証人材育成事業の積立資産であり、特定費用準備資金として管理している	12,583,774	
外部検証人材育成事業費	みずほ銀行本郷支店			
	特定資産合計		48,118,116	
その他固定資産	什器備品	パソコン他	5,008	
	保証金	開宮城野企画	817,440	
	その他固定資産合計		822,446	
固定資産合計			73,940,562	
資産合計			82,909,989	
(流動負債)				
未払費用	クラブプロ他に対する未払額	業務委託費等	202,134	
	従業員給料	3月分給料等	364,666	
	AMED補助事業に対する未払額		737,328	
	未払費用合計		1,304,128	
前受会費		平成30年度会費	396,000	
前受金		第66回大会参加費等	6,049,099	
預り金	学会本部	給与源泉税・社会保険	27,350	
仮受金			10,000	
流動負債合計			7,786,577	
負債合計			7,786,577	
正味財産			75,123,412	

収支計算書

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日まで

公益社団法人 日本実験動物学会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	7,000	1,500	5,500	
②特定預金利子収入	5,000	2,500	2,500	
③入金会収入	200,000	132,000	68,000	
④会費収入	17,000,000	16,168,000	832,000	
正会員会費収入	11,000,000	10,278,000	722,000	
維持会員会費収入	6,000,000	5,890,000	110,000	
⑤事業収入	52,424,000	55,402,487	-2,978,487	
機関誌販売事業収入	500,000	394,500	105,500	
機関誌広告収入	1,500,000	1,776,600	-276,600	
機関誌著者負担金収入	4,000,000	4,973,500	-973,500	
総会参加費収入	6,930,000	7,083,000	-153,000	
総会開催関連費等収入	31,194,000	34,564,887	-3,370,887	
管理者研修会費収入	1,300,000	771,000	529,000	
維持会員懇談会費収入	200,000	250,000	-50,000	
人材育成事業受託費収入	0	0	0	
外部検証証金収入	6,800,000	5,589,000	1,211,000	
⑥受取補助金等	9,980,000	9,980,000	0	
受取国庫補助金	9,980,000	9,980,000	0	
⑦受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
⑧雑収益	102,000	162,824	-60,824	
受取利息	2,000	1,117	883	
雑収益	100,000	161,707	-61,707	
事業活動収入計	79,718,000	81,849,311	-2,131,311	
2. 事業活動支出				
①機関誌発行事業費支出	8,100,000	9,846,930	-1,746,930	
編集費支出	1,500,000	1,864,811	-364,811	J-Stageを含む
印刷費支出	6,000,000	7,296,120	-1,296,120	
発送費支出	600,000	611,043	-11,043	
事務費支出	0	74,956	-74,956	
②総会開催事業費支出	38,124,000	40,739,642	-2,615,642	
総会開催費支出	38,124,000	40,739,642	-2,615,642	
③その他事業費支出	22,280,000	18,537,638	3,742,362	
実験動物科学シンポジウム開催経費支出	500,000	543,232	-43,232	
管理者研修経費支出	1,300,000	1,005,272	294,728	
維持会員懇談会費	400,000	557,236	-157,236	
人材育成事業経費	9,980,000	8,407,868	1,572,132	
外部検証事業経費	6,800,000	4,951,810	1,848,190	
委員会・ワーキンググループ等経費支出	1,000,000	1,706,276	-706,276	
学会賞経費支出	1,000,000	381,756	618,244	
国際賞経費支出	500,000	500,000	0	
関連国際学会・協力分担金支出	500,000	484,188	15,812	
国際交流経費	300,000	0	300,000	
④管理費支出	10,470,000	9,939,119	530,881	
給料手当支出	3,200,000	3,535,400	-335,400	
法定福利費支出	350,000	157,895	192,105	
事務費支出	2,000,000	1,921,001	78,999	
旅費交通費支出	1,200,000	1,077,384	122,616	
通信費支出	400,000	359,907	40,093	
会議費支出	200,000	76,150	123,850	
事務所賃借料支出	2,600,000	2,575,687	24,313	
租税公課支出	300,000	17,600	282,400	
公認会計士監査費支出	220,000	218,095	1,905	
役員選挙経費支出	0	0	0	
⑤その他の支出	2,400,000	2,383,365	16,635	
業務委託費支出	2,400,000	2,383,365	16,635	
(株)アイベック	1,536,000	1,519,365	16,635	
(税)税制経営研究所	864,000	864,000	0	
事業活動支出計	81,374,000	81,446,694	-72,694	
事業活動収支差額	-1,656,000	402,617	-2,058,617	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
学会賞基金引当預金取崩収入	0	288,510	-288,510	
アジア基金預金取崩収入	0	500,000	-500,000	
特別集会資金取崩収入	0	6,144,848	-6,144,848	
AMED補助事業資産取崩収入	0	1,087,802	-1,087,802	
投資活動収入計	0	8,021,160	-8,021,160	
2. 投資活動支出				
学会賞基金引当預金取得支出	0	1,033	-1,033	
アジア基金預金取得支出	0	11	-11	
特別集会資金取得支出	0	9,469,537	-9,469,537	第65回大会資金の基金積立 第66回大会資金
外部検証人材育成事業資金取得支出	0	1,258	-1,258	
AMED補助事業資産取得支出	0	2,311,188	-2,311,188	
什器備品取得支出	0	0	0	
受取補助金等返還金支出	0	595,971	-595,971	
投資活動支出計	0	12,378,998	-12,378,998	
投資活動収支差額	0	-4,357,838	4,357,838	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	-1,656,000	-3,955,221	2,299,221	
前期繰越収支差額	5,138,071	5,138,071	0	
次期繰越収支差額	3,482,071	1,182,850	2,299,221	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収金、前払費用、未払費用、前受会費、前受金、預り金、仮受金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)



科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	8,414,726	6,114,000
未収会費	999,000	1,004,000
未収金	415,800	1,274,400
前払費用	202,316	577,027
合計	10,031,842	8,969,427
未払費用	1,377,879	1,304,128
前受会費	191,000	396,000
前受金	3,266,573	6,049,099
預り金	58,319	27,350
仮受金	0	10,000
合計	4,893,771	7,786,577
次期繰越収支差額	5,138,071	1,182,850

監査報告書

2019年4月22日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 浦野 徹 殿

公益社団法人日本実験動物学会

監事 務台 衛 
監事 米川 博通 

私たち監事は、公益社団法人日本実験動物学会における2018年4月1日より2019年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、関係書類の閲覧など業務及び財産の状況を監査しました。
- (2) 各監事は、会計帳簿並びに関係書類の調査を行い、当該事業年度にかかる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2、 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していることを認めます。
 - ②理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

公益社団法人日本実験動物学会定款の変更

【旧】

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、学術集会、講演会等の開催、会誌及び関係学術資料等の刊行、調査研究、研究の奨励及び研究業績の表彰事業を行う。

- 2 前項に定めるものの他、この法人の目的を達成するために必要な事業を行う。
- 3 前各項の事業は本邦及び海外において行うものとする。

【新】

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、学術集会、講演会等の開催、会誌及び関係学術資料等の刊行、調査研究、研究の奨励、~~及び~~及び資格付与研究業績の表彰及び資格付与事業を行う。

- 2 前項に定めるものの他、この法人の目的を達成するために必要な事業を行う。
- 3 前各項の事業は本邦及び海外において行うものとする。

(公社) 日本実験動物学会の外部検証専門員認定事業について

【趣旨】

文部科学省等の動物実験基本指針により、動物実験を実施する研究機関等には、動物実験の適正な実施等を国民に示すために、動物実験の自己点検評価と外部の者による検証、更にそれらを含む情報公開が求められている。また、研究資源の適正利用と医学生命科学研究の推進には、社会に対して動物実験の適切性・透明性を担保し、研究者コミュニティとの間に相互理解を深める事が必須であり、外部検証の促進はそのため不可欠な要素である。

この動物実験の外部検証に携わる専門員には実験動物管理の経験を含む高度な専門知識が要求されるが、現状では人材が不足しており、専門員の確保が急務である。

(公社) 日本実験動物学会は外部検証制度により高度な機能性を付与するため、不足する専門員を育成するための教育カリキュラムを策定し、「専門人材育成教育プログラム」を実施している。同時に、検証実施対象の研究機関に対する「外部検証事前説明会・個別相談会」を連動させ、外部検証制度の基盤強化と普及啓発を目的として「外部検証促進のための人材育成 (AMED)」事業を実施している。

外部検証においては、各研究機関等の自己点検・評価を踏まえ、「専門人材育成教育プログラム」により育成された、実験動物あるいは動物実験に関する経験と識見を持つ専門員によるピアレビューとして検証を実施している。従って、外部検証専門員においては高度の専門知識とともに公正性が求められる。しかしながら、外部検証専門員の資格を認定する制度がないため、専門員の高度の専門知識と公正性を社会的に担保することができていないのが現状である。そのような外部検証専門員の資格を認定する組織としては、公益性を有する学術団体などが望ましい。そこで、実験動物及び動物実験に精通しており公益社団法人である日本実験動物学会が、外部検証専門員の資格認定事業を実施する必要があると考えられる。

2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日 - 2020 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 66 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 2019 年 5 月 15 日 (水) ~ 17 日 (金)
 会 場 : 福岡国際会議場
 会 長 : 小野 悦郎 (九州大学大学院医学研究院)
 参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (3 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」は下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	備考
2019 年 4 月 1 日	68	2	
2019 年 5 月 1 日	68		サプリメント号 (電子配信)
2019 年 7 月 1 日	68	3	
2019 年 10 月 1 日	68	4	
2020 年 1 月 1 日	69	1	

「Experimental Animals」の完全電子化は 69 巻 1 号より、「実験動物ニュース」の完全電子化は 68 巻 2 号より

IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 2019 年度学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (3 名)

伊藤 喜久治 会員 (日本エスエルシー株式会社)
 小幡 裕一 会員 (理化学研究所バイオリソース研究センター)
 芹川 忠夫 会員 (京都疾患モデル研究所)

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

浅野 雅秀 会員 (京都大学大学院医学研究科)
 「遺伝子改変技術に基づく多彩な生命現象の理解と疾患モデルの開発～糖鎖、エピジェネティクス、サイトカイン関連遺伝子の解析から～」

3) 奨励賞 (2 名)

井上 貴史 会員（実験動物中央研究所）

「コモンマーマウスによるヒト疾患モデル開発のための獣医学的研究」

宮田 治彦 会員（大阪大学微生物病研究所）

「ゲノム編集技術を用いた精子機能の解析」

4) 2018 年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1 編）

秋山健太郎、蕨 栄治、岡田浩介、柳川 徹、石井哲郎、巨瀬勝美、徳重克年、石毛和紀、溝上裕士、山縣憲司、鬼澤浩司郎、有泉俊一、山本雅一、正田純一

Deletion of both *p62* and *Nrf2* spontaneously results in the development of nonalcoholic steatohepatitis

「*p62:Nrf2* 二重欠損マウスは非アルコール性脂肪性肝炎を自然発症する」

(2) 2018 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2018 年受賞者（5 名）

マレーシア : Ms. Nur Syafinaz Zainal

フィリピン : Ms. Charmaine R. Peredas

スリランカ : Ms. Hesika Varnakulasingham

タイ : Ms. Ratchaneevan Aeimlapa

シンガポール : Dr. Sai Bo Bo Tun

(3) 2020 年度日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2019 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2019 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

(6) 第 69 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 役員（2020～2021 年度在任）の改選に関わる諸事業

(1) 会員名簿を作成する。

(2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

下記の委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

a. 編集委員会

b. 学術集会委員会

c. 財務特別委員会

d. 国際交流委員会

e. 広報・情報公開検討委員会

f. 動物福祉・倫理委員会

g. 定款・細則・規定等検討委員会

- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会
- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

VII. 定款の変更

外部検証専門員の認定・登録を実施するため、定款の（事業）第 4 条 1 項に資格付与を追加する。

VIII. 動物実験に関する外部検証

「動物実験に関する外部検証事業」を外部検証プログラムに沿って実施する。

IX. 外部検証のための人材育成

ナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証促進のための人材育成」課題を推進する。

X. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）及びアジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力する。

XI. その他

- (1) 第 66 回日本実験動物学会総会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催する。（学術集会委員会、動物福祉・倫理委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会）また、関連学協会との円卓会議を実施する。
- (2) 2019 年度維持会員懇談会を実施する。（財務特別委員会）
- (3) 第 8 回実験動物科学シンポジウムを開催する。（学術集会委員会）
- (4) 実験動物管理者等研修会を実施する。（実験動物管理者研修制度委員会）
- (5) 外部検証専門員講習会を実施する（人材育成委員会）
- (6) 動物実験の外部検証 2020 年度の実施準備に向けた説明会を開催する（人材育成委員

会)

収支予算書

平成2019年4月1日から平成2020年3月31日まで

公益社団法人日本実験動物学会
(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,000	0	0	7,000
基本財産受取利息	7,000	0	0	7,000
特定預金運用益	2,500	2,500	0	5,000
特定預金受取利息	2,500	2,500	0	5,000
受取会費・入会金	8,600,000	8,600,000	0	17,200,000
正会員受取会費	5,500,000	5,500,000	0	11,000,000
維持会員受取会費	3,000,000	3,000,000	0	6,000,000
受取入会金	100,000	100,000	0	200,000
事業収益	52,912,100	3,412,500	0	56,324,600
機関誌販売事業	400,000	0	0	400,000
機関誌広告	1,200,000	0	0	1,200,000
機関誌著者負担金	5,000,000	0	0	5,000,000
総会開催事業参加費	5,412,500	3,412,500	0	8,825,000
総会開催事業関連費	23,369,600	0	0	23,369,600
管理者研修会費	1,200,000	0	0	1,200,000
維持会員懇談会費	200,000	0	0	200,000
人材育成事業受託費	9,330,000	0	0	9,330,000
外部検証料金	6,800,000	0	0	6,800,000
雑収益	101,000	1,000	0	102,000
受取利息	1,000	1,000	0	2,000
雑収益	100,000	0	0	100,000
経常収益計	61,622,600	12,016,000	0	73,638,600
(2) 経常費用				
事業費	60,774,600	0	0	60,774,600
編集費	1,500,000	0	0	1,500,000
印刷費	5,000,000	0	0	5,000,000
発送費	450,000	0	0	450,000
総会開催費	32,194,600	0	0	32,194,600
実験動物科学シンポ開催経費	500,000	0	0	500,000
管理者研修経費	1,000,000	0	0	1,000,000
維持会員懇談会費	400,000	0	0	400,000
人材育成事業経費	9,330,000	0	0	9,330,000
外部検証事業経費	6,800,000	0	0	6,800,000
委員会・WG等経費	1,500,000	0	0	1,500,000
学会賞経費	800,000	0	0	800,000
国際賞経費	500,000	0	0	500,000
関連学協会分担金	500,000	0	0	500,000
国際交流経費	300,000	0	0	300,000
管理費	3,454,000	12,016,000	0	15,470,000
給料手当	1,540,000	1,960,000	0	3,500,000
法定福利費	154,000	196,000	0	350,000
事務費	600,000	1,400,000	0	2,000,000
旅費交通費	0	1,000,000	0	1,000,000
通信費	120,000	280,000	0	400,000
会議費	0	200,000	0	200,000
事務所賃借料	1,040,000	1,560,000	0	2,600,000
租税公課	0	200,000	0	200,000
公認会計士監査費用	0	220,000	0	220,000
役員選挙費	0	600,000	0	600,000
減価償却費	0	100,000	0	100,000
業務委託費	0	4,300,000	0	4,300,000
経常費用計	64,228,600	12,016,000	0	76,244,600
当期経常増減額	-2,606,000	0	0	-2,606,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 固定資産売却損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,606,000	0	0	-2,606,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	-2,606,000	0	0	-2,606,000
II. 指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	-2,606,000	0	0	-2,606,000

(注) 1 借入金限度額 0円
2 債務負担額 0円

公益社団法人日本実験動物学会 役員
(2018-19年度在任)

役職	氏名	所属
理事長	浦野 徹	生理学研究所
常務理事 (理事長代行)	國田 智	自治医科大学
常務理事 (庶務担当)	杉山 文博	筑波大学
	林元 展人	実験動物中央研究所
常務理事 (会計担当)	角田 茂	東京大学
	國田 智	自治医科大学
理事	浅野 雅秀	京都大学
	池 郁生	理化学研究所
	小倉 淳郎	理化学研究所
	喜多 正和	京都府立医科大学
	庫本 高志	東京農業大学
	塩谷 恭子	国立循環器病研究センター研究所
	高木 博隆	日本エスエルシー
	高橋 利一	実験動物中央研究所
	花木 賢一	国立感染症研究所
	真下 知士	大阪大学
	三浦 竜一	東京大学
	三好 一郎	東北大学
	森松 正美	北海道大学
	山田 久陽	大正製薬
	吉木 淳	理化学研究所
監事	務台 衛	田辺三菱製薬
	米川 博通	東京都医学総合研究所

評議員(2018-19年度在任)

氏名	所属	氏名	所属
安居院高志	北海道大学	佐々木 宣哉	北里大学
浅野 淳	鹿児島大学	椎橋 明広	三協ラボサービス
綾部信哉	理化学研究所バイオリソース研究センター	設楽 浩志	東京都医学総合研究所
荒田 悟	昭和大学	鈴木 治	医薬基盤・健康・栄養研究所
伊川 正人	大阪大学微生物病研究所	高井 了	中外製薬安全性研究部
石田 智子	実験動物中央研究所	高木 篤也	国立医薬品食品衛生研究所
磯谷 綾子	奈良先端科学技術大学院大学	高倉 彰	実験動物中央研究所
井上 聖也	アーク・リソース	高取 敦志	千葉県がんセンター研究所
今井 良悦	武田薬品工業	高橋 英機	理化学研究所脳神経科学研究センター
大石 久史	名古屋市立大学	高橋 智	筑波大学
大沢 一貴	長崎大学	高林 秀次	浜松医科大学
大塚 正人	東海大学	滝本 一広	国立感染症研究所
大野 民生	名古屋大学	竹尾 透	熊本大学
大和田 一雄	岡山理科大学	田畑 一樹	日本チャールスリバー
岡田 利也	大阪府立大学	田村 勝	理化学研究所バイオリソース研究センター
岡本 宗裕	京都大学霊長類研究所	津田 雅之	高知大学
岡村 匡史	国立国際医療研究センター	坪田 裕司	大阪河崎リハビリテーション大学
小川 修平	東京理科大学生命医科学研究所	寺田 節	獨協医科大学
落合 敏秋	日本エスエルシー株式会社	藤平 篤志	日本獣医生命科学大学
小野 悦郎	九州大学	土佐 紀子	北海道大学
小野 文子	岡山理科大学	中井 伸子	
小幡 裕一	理化学研究所バイオリソース研究センター	長尾 静子	藤田医科大学
甲斐 知恵子	東京大学医科学研究所	仲柴 俊昭	理化学研究所バイオリソース研究センター
海部 知則	東北医科薬科大学	二上 英樹	岐阜大学
加藤 啓子	京都産業大学	西島 和俊	秋田大学
金井 正美	東京医科歯科大学	林 直木	オリエンタル酵母工業
金子 武人	岩手大学	古市 達哉	岩手大学
神沼 修	広島大学	外尾 亮治	動物繁殖研究所
北嶋 修司	佐賀大学	榎屋 啓志	理化学研究所バイオリソース研究センター
北田 一博	北海道大学	丸山 滋	日本チャールスリバー
鬼頭 靖司	名古屋大学	水野 聖哉	筑波大学
久和 茂	東京大学	目加田 和之	岡山理科大学
清成 寛	理化学研究所生命機能科学研究センター	縦木 勝巳	岡山大学
日柳 政彦	日本医科学動物資材研究所	森 政之	信州大学バイオメディカル研究所
久保 薫	奈良県立医科大学	森田 華子	実験動物中央研究所
倉岡 睦季	日本獣医生命科学大学	門内 誠	中外医科学研究所
桑原 正貴	東京大学	八神 健一	筑波大学
桑原 吉史	北山ラベス	山田 靖子	東京大学食の安全研究センター
桑村 充	大阪府立大学	山中 仁木	信州大学
黒澤 努		横井 伯英	神戸大学
小出 剛	国立遺伝学研究所	横須賀 誠	日本獣医生命科学大学
小久保 年章	放射線医学総合研究所	吉見 一人	大阪大学
越本 知大	宮崎大学	和穎 岳	株式会社ヤクルト本社
後藤 一雄	帝京大学	若菜 茂晴	先端医療研究センター
後藤 元人	実験動物中央研究所	和田 健太	東京農業大学
小山 公成	アステラスリサーチテクノロジー	渡部 一人	中外製薬
阪川 隆司	ボゾリサーチセンター	渡邊 利彦	中外製薬
佐加良 英治	兵庫医科大学	渡辺 秀徳	日本たばこ産業医薬総合研究所
笹岡 俊邦	新潟大学脳研究所		

97名

維持会員

(2019年3月31日現在)

機 関 名	
(株)IHI	全国農業協同組合連合会飼料畜産中央研究所
(株)アイセイ	第一三共(株)
旭化成ファーマ(株)	大正製薬(株)
味の素(株)	ダイダ(株)
あすか製薬(株)	武田薬品工業(株)
アステラスリサーチテクノロジー(株)	田辺三菱製薬(株)
(株)アドスリー	(株)中外医科学研究所
(株)アニマルケア	中外製薬(株)
(株)アニメック	千代田テクノエース(株)
(株)イナリサーチ	(株)ツムラ
EPS益新(株) LSG事業部	帝人ファーマ(株)
エーザイ株式会社	(一財)動物繁殖研究所
(株)LSIメディエンス	東洋熱工業(株)
(株)大塚製薬工場	トーアエイヨー(株) 福島研究所
小野薬品工業(株)	トキワ科学器械(株)
小原医科産業(株)	(株)夏日製作所
オリエンタル酵母工業(株)	日本新薬(株)
花王(株)	(株)日本医科学動物資材研究所
(一財)化学及血清療法研究所	合資会社日本医学広告社
科研製薬(株)	日本エスエルシー(株)
鹿島建設(株)	日本化薬(株)
北山ラベス(株)	日本クレア(株)
キッセイ薬品工業(株)	日本実験動物器材協議会
九動(株)	(公社)日本実験動物協会
共立製薬(株)	日本実験動物協同組合
協和発酵キリン(株) 富士リサーチパーク	(一財)日本生物科学研究所
クミアイ化学工業(株)	日本たばこ産業(株) 医薬総合研究所
(株)クレハ	日本チャールスリバー(株)
(株)ケー・エー・シー	日本農産工業(株)
興和(株)	日本農薬(株)総合研究所
三協ラボサービス(株)	(株)ハクバテック・ライフサイエンス・ソリューションズ
参天製薬(株)	バンニーグループ 日本事務所
(株)三和化学研究所	ハムリー(株)
(株)ジェー・エー・シー	(一財)阪大微生物病研究会
シオノギテクノアドバンスリサーチ(株)	フィード・ワン(株)
(公財)実験動物中央研究所	(株)ボゾリサーチセンター
清水建設(株)	三浦工業(株)
昭和セラミックス(株)	(株)明治
(有)新東洋製作所	Meiji Seikaファルマ(株)
(株)新日本科学	持田製薬(株)
住友化学(株)	(株)ヤクルト本社
(株)精研	八洲電機(株)
清和産業(株)	ライオン(株)
ゼリア新薬工業(株)	レッテンマイヤー・ジャパン(株)